



青山 smile 通信

～みんなが笑顔になれる学校づくり～



令和5年12月20日

大津市立青山小学校 生徒指導通信

12月のソーシャルスキル① 仲間に入ろう 友達をさそおう

12月のソーシャルスキルは2本立て。第1部は、まず、1年担任出演の動画「仲間に入ろう 友達をさそおう」を視聴しました。今回は、「仲間の入り方・さそい方」の学習で、「ドッジボールに入りたいけど声をかけられず困っている場面」、「自分から声をかける場面」、「友達を遊びにさそふ場面」を比べながら視聴しました。

その後、それぞれの学年の発達段階に応じて、1, 2年生は①「鬼ごっこをして遊んでいる仲間に入れてもらう場面」②「1人である友達をカルタ遊びにさそふ場面」、3, 4年生は①「はないちもんめをして遊んでいる仲間に入れてもらう場面」②「1人である友達を迷路で遊ぼうとさそふ場面」、5, 6年生は①「トランプをして遊んでいる仲間に入れてもらう場面」②「いくつか設定した場面から選んで」についてリハーサル（ロールプレイ）をしました。

仲間に入ったり、さそったりする時にも、①相手の目を見て（笑顔で）、②自分の気持ちをはっきりと、③聞こえる声で伝えることが大切であることを動画視聴、リハーサルで学習しました。

1 リハーサル①をしました

学年ごとに上記の場面①について、2人組、3人組、または4人組で、「ロールプレイの3ステップ」で役割を決めてリハーサル（ロールプレイ）をしました。

2 リハーサル②をしました

学年ごとに上記の場面①について、2人組、3人組、または4人組で、「ロールプレイの3ステップ」で役割を決めてリハーサル（ロールプレイ）をしました。5, 6年生は、グループで選んだシナリオでロールプレイをしました。

3 児童の振り返りより

- ❖おともだちが「いれて」をいえたときに、にこにこしてはっきりいえたとききもちよかった。おともだちがれんしゅうしているときにめをみてにっこり言ってくれたからとてもいい気もちになった。
- ❖これから人の目を見て、えがおで「いいよ」っていいたいです。
- ❖かんじたことは、言うときにドキドキしても、ゆうきを出して言うほうがいいんだなとかんじました。
- ❖「いいよ」といってもらえたら、あいてもうれしいきもちで楽しくあそべると思います。
- ❖相手の感じ方が接し方によって変わってくると分かりました。また、笑顔で言うこと以外にも進んであたたかいメッセージを伝えることが会話の中で一番大切だと気づきました。相手の目を見ることで真剣にうれしがってくれていると感じられました。
- ❖やっぱり自分からさそったり自分をさそってくれたりしたらすごくいい気もちになってうれしくなりました。

- ❖ さそってもらおうとうれしいし、さそったほうも人数がふえてたのしくなるので、二人ともいい気持ちになることが分かりました。
- ❖ なかまに入ろうとして勇気をだして「入れて」と言って入れてもらえなかったら悲しいけど、入れてもらえたらうれしくて勇気をだしたかいがあった。
- ❖ 相手を見て言った方が気持ちよかった。
- ❖ 今やっていることをやめないと本当に入っているのか分からなくなるし、友達の目を見ないとだれに言ったのかが分からなくなるかもしれないし、これからも友達をしょうずにさそいたいなと思いました。
- ❖ 仲間に入ったり、友達を誘ったりするのは難しかったけど、勇気を出して言ったら意外とできてしまったので、これからも勇気を出して入ろうとしてみようと思います。
- ❖ 今日みたいにドッジボールにさそってもらったり、さそう機会を増やしたりすることで友達も増えるし、メリットがたくさんあるなと思った。
- ❖ 意外に勇気を出して言ってみたらそれにしっかり答えてくれるかもしれないから勇気を出して言ってみようと思った。
- ❖ いつも同じ人と一緒にいるからさそうとかはなかったけど、他の子に誘われたときに無意識に強く断っていたかもしれないから、誘うだけじゃなくて、誘われた時の返答も気を付けようと思った。
- ❖ この練習をしたら高校などのだれも友達がいなくても友達を作れて、逆に友達がいなくても誘えそうです。
- ❖ 自分が気づいていなくても、相手が自分の言った言葉をどう受け止めてくれたかは、これまでまったく分からなかった。でも、こつを今回覚えることができたので、これからはすっきりした気分で楽しく遊びたいと思う。
- ❖ 自分も理由も言わずに無理とかやだとか言ったこともあったから今後はやめて、ちゃんと理由もちゃんと断ったりして両方とも気分がいいようにしたいと思った。
- ❖ 新しいところで1人になったら、まず声をかけてみようと思った。
- ❖ 新学期とかに自分から声をかけるのが苦手だし、あまり声をかけたことがなかったから、中学生になっても声をかけたり、さそったりすることを意識していきたいなとこの学習で思うことができた。
- ❖ 中学生、高校生、大学生になったら、最初にこれをするのかもしれないと思った。これができなかつたら1人でさびしい思いをしてしまうのかなとも思う。だから大切なスキルだし、この学習をしているのだと思う。
- ❖ 私はいっしょに何かをしたいとき、ちょっとモジモジしてしまうときがあるから、今日この学習をして「入れて。」と少し言えると思う。
- ❖ 練習をしてみて、さそったり入ったりするとき、目を見てやるとなんか心がほっとするし、さそってよかったと思います。
- ❖ 自分も相手も大切にしたい伝え方は、相手を見ること、自分の気持ちをはっきりとわたしの言い方で伝えることだと分かりました。人によっていやな言い方が変わることが分かりました。これからも自分の気持ちも相手の気持ちも考えて行動したいです。

